

## しのばず自然観察会より 2015-10 2015.11.15

### 2月の活動その1 不忍池水鳥観察とカウント練習（雨天実施）

と き：12月6日（日）緑の旗が目じるし（12月20日は水鳥調査です）

集 合：午前10時 東京メトロ（地下鉄）千代田線湯島駅根津寄り改札前（地下）

持ち物 筆記用具、双眼鏡、弁当、飲み物、雨具、敷物

（弁当は出発時に用意してください。駅上にコンビニあり）

参加費 200円

12月の観察会は、不忍池の水鳥をじっくり観察します。鳥の表情など、個性も楽しみましょう。そのあとカウント調査の練習もします。終了後、谷中の作業所で通信などの発送作業と、会40周年記念の相談（水鳥絵ガイド、会の歴史など）をします。

### 2015年10月の活動より 自然教育園

10月の観察会は、19名で国立科学博物館附属自然教育園を訪ねました。ぐずついたお天気が回復して朝方のひんやりした陽気が暑いくらいの晴天にかわりました。園にはほかにも団体さんが複数来ていて、賑わいを感じさせ、私たちが帰路に着く2時半頃にも続々と散策の人が入園していました。

自然教育園は昔の有力者の館跡で、江戸時代には大名屋敷となり、明治以降は軍の弾薬庫になりましたが、宮内省帝室林野局のいわゆる白金御料地を経て、今は天然記念物・史跡に指定されています。子どものころにこの近くに住んでいた藤田会員は意味も分からぬまま「かやくこ」と呼んで、柵の下をすり抜けて中に入って遊んだそうです。

園の入り口近くは路傍の野草の動態展示、頭の上には色づいた木々の葉やイイギリの赤い実が見えました。野菊類をはじめ、秋の花々が咲き、夏草が実をつけて楽しませてくれました。

入り口周辺には背が低く広がる感じのシロヨメナ（ヤマシロギク）、より高めのシラヤマギクは葉の形がスペード形で目立ちます。ムサシアブミの三裂した大きな葉の付け根に上を向いたトウモロコシのような実がついていました。今は緑ですが、やがて赤く熟します。この仲間は種子から育ったまだ小さい個体は雄花をつけ、年を経て大きな体になった個体は雌花をつけます。ちょうど、性転換をしたように見えます。

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方  
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL: [www.ac.auone-net.jp/~sinobazu/](http://www.ac.auone-net.jp/~sinobazu/)  
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

\*\*2014年以前の会費未納の方もお忘れなく！ 退会の場合は早めに葉書で事務局へ。\*\*

秋の自然教育園で気になるのが、ナンバンギセル。ススキなどイネ科植物の根元に寄生し、花の時期である秋しか見つけられません。時期が少し遅いのでだめかも知れないと思いつつ、いつも生えているあたりを探し、ようやく1輪咲き残りを見つけました。

長らく伐採をしていない園内で、見どころの一つがコナラの大木です。雑木林の木として2～30年ごとに切っては根株から更新するので、細い木というイメージがありますが、ここでは見上げる太い大木（檜の木）になっています。

カラタチバナ、センリョウ、マンリョウというおめでたい植物も実をつけ、ウバユリも大きな実になっていました。ウバユリは開花まで数年かかり、開花結実して枯れてしまいます。



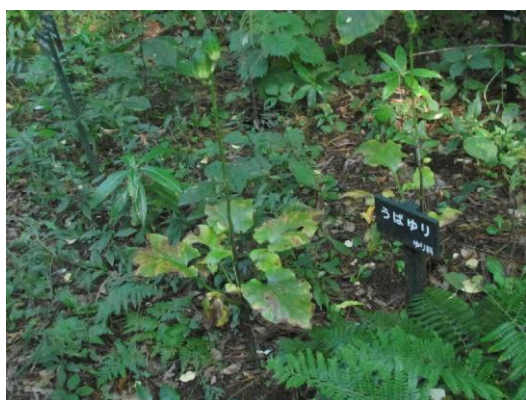
カラタチバナ (赤い実)



センリョウ (色づく前の実)



マンリョウ (赤い実)



ウバユリと実